

## 小倉北区清水での木造共同住宅火災を受けての今後の方向性

### 1 この火災での主な課題

- (1) 使用開始届出等が提出されず、共同住宅として把握できなかった。
- (2) 建物構造上（木造の中廊下式共同住宅）、火煙が急速に拡大したと考えられる。
- (3) 出火箇所が共用部分と推測され、火災の発見が遅れたことで、避難行動の時機が遅くなった。

### 2 これまでの取り組み状況及び今後の方向性

- (1) 適正な届出の徹底及び未届対象物を把握するための対策を推進する。
  - ① 未届対象物の調査のため、消防職員によるローラー作戦（5月12日）
  - ② 宅地建物取引業協会等の建物の情報を知る団体との連携（5月12日）
  - ③ 地域の実状に詳しい消防団員などからの情報収集（5月15日）
  - ④ 宅地建物取引業協会等を通じた、適正な使用開始届出等の徹底（5月26日）
  - ⑤ 庁内GISを活用した未届防火対象物の検索システムの検討や定期的な未届対象物調査（今後検討）
- (2) 管理者や居住者等に対する防火指導を強化する。
  - ① 木造共同住宅（1,135棟）に対する特別査察の実施（5月12日）
  - ② ケースワーカーに対する火災予防研修（6月中旬までに実施予定）
  - ③ ケースワーカーによる被保護者に対する火災予防啓発や住宅用火災警報器、消火器の設置状況等の確認と消防への情報提供（研修終了次第、随時実施）
- (3) 特別査察で木造の中廊下式共同住宅を抽出し、その防火対策を強化する。
  - ① 共用部分における無線連動型・住宅用火災警報器等の有効性と設置（今後検討）
  - ② 無線連動型・住宅用火災警報器等が適切に設置されていることが、居住者等に判るような表示の検討（今後検討）

### 3 施策の推進に当たって

#### ◆ 行政内部の情報共有の強化

既に連携を図っている医療・福祉・生活衛生施設関係に社会的弱者関係を加え、建物利用者に対する火災予防啓発や住宅用火災警報器の設置状況等の確認と消防への情報提供、また、関係課は消防に建物の消防法令適合状況を確認し、建物利用者の安全確保に努めていく。（3局連携会議5月12日以降8回開催）

北九州市消防局指導課	担当：岡本・品川（093-582-3812）
北九州市建築都市局建築指導課	担当：樫本・結城（093-582-2531）
北九州市保健福祉局保護課	担当：山田・野口（093-582-2445）

〇〇〇消防署長 様

〇〇〇福祉事務所長

担当CW 氏名 \_\_\_\_\_

連絡先 〇〇〇—〇〇〇〇

## 消防設備等に不備がある共同住宅等に関する情報提供

下記の住宅を訪問したところ、消防設備等に不備があることが疑われましたので、情報提供します。

訪問調査を実施していただき、調査結果（家主等への指導状況及び改善状況等）について、情報提供くださいますようお願いいたします。

1 住宅の所在地		
2 家主	氏名	住所
		連絡先
3 建物の形状	<input type="checkbox"/> 共同住宅（ <input type="checkbox"/> 1階建て <input type="checkbox"/> 2階以上（ 階） <input type="checkbox"/> 一戸建て <input type="checkbox"/> その他（ ）	
4 建物の構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> モルタル <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート <input type="checkbox"/> その他	
5 消防設備等 （わかる範囲で 記載してください。）	消火器	
	火災報知機	
	その他	
6 周辺の状況	<input type="checkbox"/> 家屋の周辺に燃えやすいものがある <input type="checkbox"/> 道路が狭く、消防車が入れない <input type="checkbox"/> 焚き火をした後がある <input type="checkbox"/> タバコの吸殻が散乱している <input type="checkbox"/> その他	
7 消防署 （処理欄）		

きよ じゅう しゃ  
居住者のみなさんへ

か じ いのち まも  
火事から 命を守る 7つのポイント

しゅうかん たいさく  
～3つの習慣・4つの対策～

しゅうかん  
3つの習慣

①寝ながらたばこを  
吸うのはやめましょう



②ストーブは燃えやすい  
ものから離して使用し  
ましょう



③ガスコンロなどの  
そばを離れるときは  
必ず火を消しましょう



たいさく  
4つの対策

①逃げ遅れないために、住宅用火災  
警報器が設置され、動くかどうか  
確認しましょう



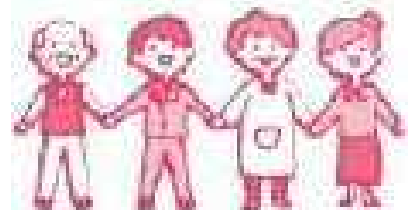
②寝具や衣類、カーテンは燃え  
にくいものを使用しましょう



③住宅用の消火器の  
位置を確認しましょう



④隣近所で声を掛け合い、いつでも  
協力できるようにしましょう



# こんなことから火事が起きます

ひごろ き つ  
＜ 日頃から気を付けましょう ＞

## でんき まわ 電気コード周り

いた  
傷んだまま

しよう  
使用する



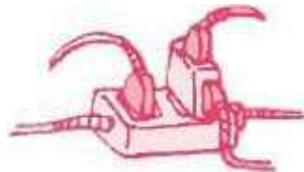
プラグにほこり

がたまっている



あしはいせん  
タコ足配線に

している



コードを束ねて

しよう  
使用する



ほ  
干していたものが

あ  
ストーブに当たる



ひ  
こんろの火が

いふく うつ  
衣服に移る



なべ  
鍋をこんろにかけた

ほか  
まま他のことをする



ぶつだん  
仏壇のロウソク

たお  
が倒れる



か じ ばん れんらく  
**火事の際は☎119番へ連絡を！**

ことば みみ ふじゆう ひと  
言葉や耳が不自由な人は

ばんごう  
ファックスで⇒ファックス番号119